

概 要

目的	文化芸術活動に関する現状や課題を把握する。
対象者	文化団体・文化芸術活動者（21者）、民間団体（5者）、文化施設（5者）、教育機関（1者） 計 32者
調査時期	令和6年12月2日(月)～令和7年2月6日(木)
調査方法	対面、オンライン対面、アンケート
調査項目	<ul style="list-style-type: none">・文化芸術活動や連携・交流の状況について・文化芸術活動や連携・交流における課題について・文化芸術振興で目指す滋賀の将来の姿について・文化芸術活動者等の役割について・文化芸術活動に取り組む環境について・持続的な文化芸術活動に必要な取組について 等

1 文化芸術活動や連携・交流における課題

- 文化芸術に触れるきっかけや、ギャラリーなどの発表の場が少ない。(文化芸術活動者)
- 指導者や活動者の高齢化が進んでいる。(文化芸術活動者)
- 後継者の育成が重要だが、どうやって育成するかが難しい。(文化芸術活動者)
- 地域の人々や企業がアートに距離を感じていることが多い。(文化芸術活動者)
- 活動資金が十分でないため、補助金制度や文化芸術に対する寄附を受け入れる仕組みが必要。(文化芸術活動者)
- 学校現場、特に部活動指導の指導者の不足を解消する必要がある。(民間団体)
- 社交の場としての機能など、文化芸術への支援が経営活動につながるということが明確だと、企業も協賛に乗り出しやすい。(民間団体)
- 文化芸術に対する理解が乏しく、人材育成する余裕がない。(文化施設)
- 行政の担当者や地域によって、文化振興に対する温度差があり、継続的な連携・交流が困難。(教育機関)

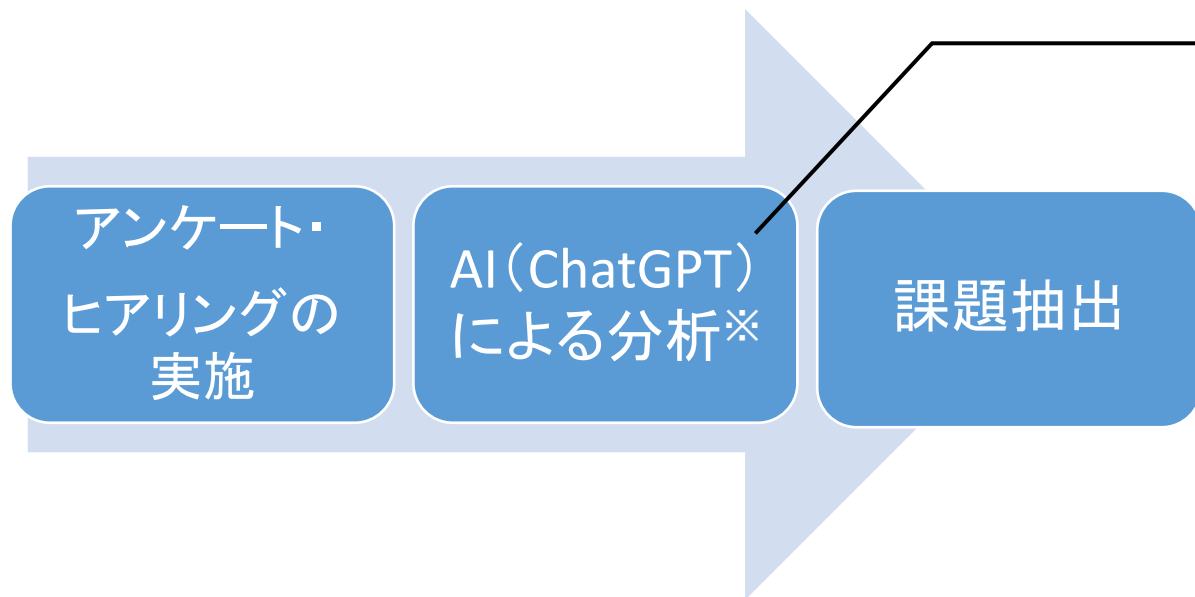
2 文化芸術振興でめざす滋賀の将来の姿

- 町のいたるところに文化芸術が存在するのが理想。(文化芸術活動者)
- アートが持つ「人を集める力」を活かして、過疎化が進む地域を活性化させたい。(文化芸術活動者)
- 滋賀には素朴さがあるのでそこを売りにしたい。(文化芸術活動者)
- 琵琶湖のまわりにいる人々が、手を携えて連携する絵が滋賀らしい。(民間団体)
- 文化芸術を取り入れることで、他者を受け入れる心を育みたい。(民間団体)
- 文化芸術の必要性が理解されているのが大事。(文化施設)
- 文化を大切にする心が育まれ、文化でコミュニティが生まれることが共通認識されているのが重要。(教育機関)

3 文化芸術活動に取り組む環境および持続的な文化芸術活動に必要な取組

- 文化芸術に「触れる」「知る」ことが重要。(文化芸術活動者)
- 不登校の子どもや生きづらさを抱える子どもたちへのアウトリーチも重要。(文化芸術活動者)
- 子どもだけでなく老若男女様々な県民が文化芸術活動に主体的に関わる草の根的な活動を展開することが肝要。(文化芸術活動者)
- 活動の成果を認められる機会が多いことと、そのことを手軽に広く知らしめる手段があることが望ましい。(文化芸術活動者)
- 補助金制度や文化芸術に対する寄附を受け入れる仕組みが必要。(文化芸術活動者)
- 県外から人を取り込むには、移住支援がないと難しい。(文化芸術活動者)
- 文化芸術を社会とつないでくれる人が必要。(文化芸術活動者)
- ネットワークを生かして県内一円で、どこにいても、どんな環境の子どもにも、機会を提供できる仕組みが重要。(民間団体)
- 各分野に文化芸術の視点からプロジェクトを考える人がいるのが大事。(民間団体)
- 文化芸術を地産地消するため、滋賀の文化芸術活動者が滋賀で活動するための拠点としての機能が必要。(文化施設)
- 公共ホールが周辺地域のコア・ステーションとして活動すること。(文化施設)
- 芸術家1人を支援するのではなく、地域住民もまとめて支援する仕組みがあると良い。(教育機関)
- 地域の文化を愛して、大事にしないといけないと思う人が必要。(教育機関)

AIを用いたアンケート・ヒアリング結果の分析



※ChatGPTへのプロンプト(指示)

【お願い】

あなたは文化芸術の担当者です。関係者へのアンケートを元に課題を整理してください。

【目的】

改善すべき課題を整理するため

【情報】

- ・○○○
- ・●●●
- ・...

【ルール】

- ・似た課題は1つにまとめシンプルに整理すること
- ・出力は優先度順に並び替えて出力すること

【出力】

表形式: | 番号 | 課題 | 対応優先度 |

アンケート・ヒアリング結果からみえてきた課題

文化芸術
に触れる
場の不足

担い手
不足

文化芸術
への
関心・理解
不足